

10/17 稲返し



まんべんなく乾燥させるため、杭がけしてしばらく天日干しした稲を裏返しなが隣杭に移しました。



お米の学習では最後の作業、ついに「脱穀」。田んぼの先生や保護者のみなさんにあいさつをして、作業開始です！



みんなで育てたお米、早く食べたいね



機械で稲わらお米が分けられ、米袋にたまっていきます。

ご指導、ご協力、ありがとうございました！

豊作♪



ずっしりと重たい米袋。協力して運びました。

5月の田植えから半年、無事にお米ができました！「田植え」、「稲刈り（天日干し）」、「稲返し」、そして「脱穀」と作業は4回でしたが、その間も観察で田んぼへ行ったり、お米のことを調べたりしていました。脱穀したお米は、まだもみ殻がついている状態です。白米にするためには、さらに粳摺り、そして精米の作業が必要なため、お米の先生にお願いしました。稲わらは田んぼの先生が飼っている牛の餌になるのでムダにならず、まさに循環農業。令和の米騒動もあった今年、お米を自分たちで栽培する貴重な体験ができたのは、田んぼの先生お二人をはじめ、保護者のみなさまのご協力のおかげです。ありがとうございました！

杭がけした稲を子ども達が運び、ハーベスタで脱穀

10/22

宮小5年総合脱穀

宮宿小学校
地域活動推進員
古田 雅子